

【開催報告（国際研究連携、インドネシア）】

第 10 回日本・インドネシア共同ワークショップを開催しました

国土技術政策総合研究所（国総研）とインドネシア公共事業省道路研究所（IRE）は、平成 21（2009）年 11 月に道路及び交通分野等における研究連携に関する覚書の締結を行っています。これに基づき、平成 25（2013）年 10 月 29 日～30 日にかけて第 10 回共同ワークショップを東京で開催しました。

（開催内容）

今回の共同ワークショップでは、道の駅に関するスタディツアー、及び国総研と IRE の間でそれぞれ合意した各研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動（活動経緯は、最終ページ参照）の一環で、下記の項目について共同ワークショップを開催しました。

- ①トンネル及び地下構造物
- ②天然ロックアスファルト・アスブトン活用プロジェクト

参加者は、日本側から国総研及び（独）土木研究所研究者の他、関連民間技術者等が参加し、インドネシア側から、IRE の Herry Vaza 所長をはじめとした研究者 9 名が参加しました。



第 10 回日本・インドネシア共同ワークショップの様子

(スタディツアーの概要)

1. 道の駅に関するスタディツアー

インドネシア IRE においては「道の駅」についての関心が高いことから、道の駅に関するスタディツアーを実施し、道の駅及び道の駅との比較対象として高速道路のPA、道路沿いの商業施設を視察しました。



スタディツアー（道の駅）



スタディツアー（説明の様子）

(各セッションの討議概要)

2. ①トンネル及び地下構造物における議論・検討の概要

トンネルに関するセッションでは、はじめに IRE 側よりインドネシアにおける交通システムの整備状況およびトンネル建設に関する歴史について紹介がありました。その後、インドネシア初となる山岳工法による道路トンネル建設プロジェクトでの技術的な課題である未固結小土被り地山におけるトンネル建設技術について、日本側より類似条件下でのトンネル設計事例や補助工法施工方法の解説、加えて、山岳トンネルの地震対策について解説を行いました。また、IRE より土木研究所に派遣されている外国人受入れ研究員より、日本での研究成果として小土被りトンネルにおける数値解析を用いた検討結果について報告が行われました。これらの討議を通じて両国における山岳トンネル技術に関する知見が深まると共に、今後においても、両国間の研究連携を深めていくことが確認されました。



2. ②天然ロックアスファルト・アスブトン活用プロジェクトにおける議論・検討の概要

本セッションでは、IRE 側から 2 名、土木研究所から 3 名、改質アスファルト協会から 3 名の合計 8 名で議論を行いました。日本側から我が国の改質アスファルトのこれまでの経緯を紹介しました。その後、1. 日本の改質アスファルトのガイドライン、2. インドネシアでのアスブトンセンター設立に向けた課題の 2 つについて議論を行いました。わが国の改質アスファルトのガイドラインや適用事例をインドネシアの状況に合わせ適宜運用していくため、次回の WS で情報提供することとしました。またアスブトンからアスファルトをチユ出するアスブトンセンターの設立に向け、今後も継続して情報提供や意見交換を行うこととしました。



(参考) 活動経緯

国総研と IRE は、平成 21(2009)年 11 月に交わした研究連携に関する覚書に基づき、これまでに以下の通り共同ワークショップを開催しています。

開催年月	概要
平成 21 年(2009) 6 月	連携意向/研究ニーズ調査会合 (ジャカルタ、バンドン)
平成 21 年(2009)11 月	公共事業省研究総局道路・橋梁研究所(RDCRB、旧名 IRE)との研究連携覚書の締結
平成 22 年(2010) 3 月	第 1 回 WS 開催 (バンドン) 副大臣ほか約 200 名参加、研究連携分野の特定
平成 22 年(2010) 6 月	RDCRB 所長他来日 (つくば) (10 月開催の国際シンポジウムの事前調整会議)
平成 22 年(2010)10 月	第 1 回国際シンポジウム (第 2 回 WS) 開催 気候変動・道路環境に関する研究連携に関するアジア太平洋シンポジウム共催 (バリ、7 各国参加) 研究プロジェクトの特定
平成 23 年(2011) 1 月	第 3 回 WS 開催 (ジャカルタ)「研究ロードマップ合意 I」
平成 23 年(2011) 6 月	第 4 回 WS 開催 (スラウェシ)「研究ロードマップ合意 II」
平成 23 年(2011) 9 月	Study Tour in Japan 開催 (つくば他) (実験施設の現代化調査)
平成 23 年(2011)10 月	第 2 回国際シンポジウム (第 5 回 WS) 開催 (マタラム) 進捗発表/共有等
平成 24 年(2011) 3 月	第 6 回 WS 開催 (バンドン)「研究ロードマップ合意 III (改定含む)」
平成 24 年(2011) 6 月	第 3 回国際シンポジウム開催 (第 7 回 WS) 開催 (バタム) 「研究ロードマップ合意 IV (改定含む)」技術紹介・現地適応性検討等
平成 24 年(2012) 6 月	3 カ国中間報告ワークショップ開催 (つくば他) 各研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動について、研究実務者が共同で活動状況及び成果について中間報告を開催
平成 25 年(2013) 1 月	第 8 回 WS 開催 (ジャカルタ) 5 つの研究連携プロジェクト (道路環境、道路交通、交通安全、舗装、トンネル分野) における、現在までの進捗状況の確認や次年度の研究実施計画の調整と意見交換、並びに現地調査に関する事前調整等
平成 25 年(2013) 8 月	第 9 回 WS 開催 (パダララン-バンドン) 4 つの研究連携プロジェクト (道路交通、交通安全、舗装、トンネル分野) における、現在までの進捗状況の確認や意見交換、及び現地調査等

以上